

## 第7章 ロシアの公共図書館

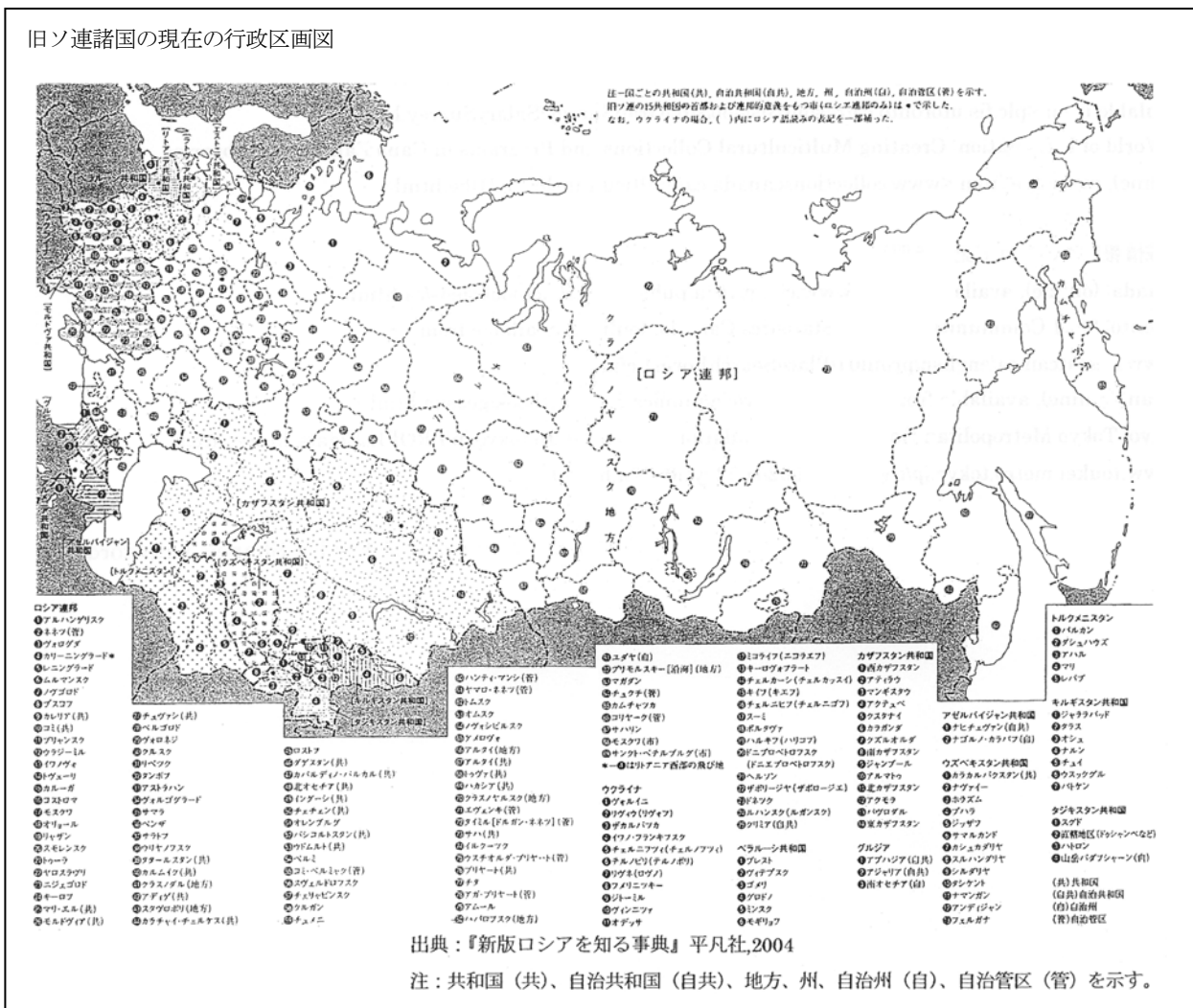
### 1. 公共図書館の位置付けと機能

#### 1. 地方制度と公共図書館の法的・制度的な位置付け

##### (1) 国と地方の関係、地方自治制度(州・県・市町村等)について

ロシアの地方行政制度は、連邦構成主体、地方自治体の2層から構成されている。(中央を含むと①連邦中央、②連邦構成主体、③地方自治体の3層構造となる。以下の記述において、①②レベルの図書館をまとめて扱う場合があるため、併記しておく)。連邦構成主体は、共和国・州・地方、自治管区および独立市であるモスクワ市、サンクトペテルブルク等あわせて89の地方行政体である。これを連邦政府の立場から7つの連邦管区にまとめて扱うこともあるが、構成主体といえはあくまでこの89である。その下に地方自治体がある。地方自治体は都市居住区域(городское поселение)、農村居住区域(сельское поселение)、地方自治郡(муниципальный район)、都市地区(городской округ либо внутригородская территория города)に分類される。

旧ソ連諸国の現在の行政区画図



## (2) 地方制度の段階(層構造)と、公共図書館のネットワークについて

上記の①にあたる連邦のレベルでは以下のものがある。

ロシア連邦国立図書館 (Российская государственная библиотек)

ロシア国家図書館 (ロシア国民図書館) (Российская национальная библиотека)

全ロシア外国語文学図書館 (Всероссийская государственная библиотека иностранной литературы) など 9 館。

上記の②構成主体のレベルでは、それぞれの構成主体の中央図書館として、共和国国立中央図書館、州立中央図書館、地方中央図書館がある。計 1,018 館である。

③の地方自治体すなわち市町村レベルには、その地方自治体の中央図書館のほか、都市部の図書館、町村部の図書館がある。計 47,740 館である。

(以下の記述では、上記①と②を加えた大図書館 (1,027 館) と、③のレベルの図書館 (47,740 館) とを対比的に扱う場合がある。)

なお、①の国立図書館のなかでも中枢は、РГБ (Russian State Library、ロシア連邦国立図書館) と РНБ (National Library of Russia、ロシア国家図書館) である。前者のロシア連邦国立図書館には補助専門教育と再教育の研修センターがあり、後者のロシア国家図書館にも研修センターがある。

国立図書館は書誌学、図書館学、図書学の研究におけるセンター機能をもち、他の公共図書館間の相互協力のために、あらゆる援助を行うこととされている。

## (3) 公共図書館の設置・運営に関する関連法令の体系と設置運営主体について

図書館関連分野におけるロシア連邦の全国的な法律には、以下のものがある。ロシア連邦の各構成主体を対象とする法律である。(「ロシア連邦議会の図書館に関する法律」より) これらと地方自治法の規定により、各地方自治体は、図書館の設置のための条例、規則、規程等を定める。

[http:// www.rba.ru:8101/or/od/law/fedzak/index.html](http://www.rba.ru:8101/or/od/law/fedzak/index.html)

- ・「図書館事業について」 ("О библиотечном деле")  
1994 年 11 月 23 日にロシア連邦の国会で採択された法令である。  
(ロシア連邦法令集、1995.-№1-p.1)
- ・「書類の必須謄本について」 ("Об обязательном экземпляре документов")  
1994 年 11 月 23 日にロシア連邦の国会で採択された法令である。  
(ロシア連邦法令集、1995.-№1-p.2)
- ・「全ロシアを対象とする図書館の日の規定について」  
(" Об установлении общероссийского Дня библиотек")  
ロシア連邦大統領令、1995 年 5 月 23 日、№539、(ロシア連邦法令集、1995.p.23)

## (4) 公共図書館に対する国家レベルの体制と方針について

Federal Target Program (FTP) という連邦レベルの企画プログラムの中で、ロシア連邦文化省が所管している「ロシアの文化 (2001-2005)」プログラムが制定されて以来、文化省は基本的な図書館の現代化に向けて重要な図書館関係の計画を実行に移し始めた。以下のような計画は「ロシアの文化 (2001-2005)」の範囲内で決定され、そして毎年の「ロシア連邦図書館の一覧計画」に記載される。

「ロシア全体の情報図書館ネットワーク “LIBNET” の構築」、「ロシア連邦の書誌を保存するための国民プログラムの作成」、「法的情報に関する公共センターの設置」、「図書館の管理の現代化」などである。文化省の図書館課のスタッフはこの FTP の「ロシアの図書館」の中のさまざまな方針・計画に関する管理者である。

2001~2002 年の間、「ロシアの文化」の枠組み内で「ロシアの図書館」という分野で 400 以上の地方計画が継続して実行に移された。

2002 年は、今後の現代化、資源確保、コンピュータ化と図書館の技術的な装備の更新も含めて、インターネット上の電子情報へのアクセスの保障と情報の統合のため、ロシアの図書館間で団体の協力などが行われた。

2003 年、文化省から指示された主要な計画は、図書館の情報化、図書館事業の分野におけるプロの専門的な再教育、市立図書館の発展、国の蔵書数の増加等の計画を引き続き実施する計画である。

“Проект развития общероссийской информационно-библиотечной компьютерной сети ЛИБНЕТ“ :

「ロシア全体の情報図書館ネットワーク “LIBNET” の構築計画」の範囲内でロシア図書館において電子版総合目録を作成する。この計画により、LIBNETに関する情報図書センター機能が確立された。

“Организация коллективного доступа к электронным ресурсам крупнейших информационных центров мира”

「ロシア図書館から世界の最大情報センターの情報への共同アクセスを保障する計画」では、2003年には電子フォーマットを通して、定期刊行物の予約購読を、最も安くかつ効果的に行えるようにし、いくつかの図書館が国民の電子情報コンソーシアムに統合することとされている。

“Создание и развитие технологий доступа к распределенным электронным ресурсам российских библиотек”

「ロシア図書館から配分された電子情報アクセス技術の開発と発展」という計画でロシア図書館から現在の電子情報にアクセスするため、配分された図書情報に統一のアクセスポイントを作成することによって、アクセス技術を確立する。利用者にとって、別の図書館の電子版目録・地方情報が検索でき、国全体としての横断検索が可能になる。

“Создание электронной коллекции документов по социальной и политической истории России XIX-XX веков”

「2003年には、国立公共社会政治図書館のコレクションに基づいて、19～20世紀のロシアの社会と政治歴史の電子コレクションを作成する」という計画の目的は、国立公共社会政治図書館のコレクションに関して、アクセスを高めること、コレクションの保管を保障することである。電子コピーを作成し、利用者に保存先に関しての情報を与える。

図書館の情報資源の利用効果率は、他図書館に電子コピーを渡す、あるいは一時的に各図書館の間のシステムを利用することにより図られる。情報にアクセスする際は、利用者の住所に関わらず平等な権利を保障する。情報プロバイダーとして図書館は、情報サービスの効果と実用性を高めることによってその役割レベルを高める。

“Организация повышения квалификации библиотечных работников Российской Федерации”

「ロシア連邦における図書館職員の技能資格の向上（研修）を行う」計画。ロシアの地方では、中央と市立図書館の幹部と現職職員を対象にして、最新の図書技術に関し、教育プログラムを連続して実施する。プログラムの目的は図書技術における専門資格と豊かな経験を持つ人たち及び特定主題の最新プロジェクトに参加するメンバーを指導者として集め、教育カリキュラムを実施することにある。

“Реформирование муниципальных публичных библиотек. Создание системы информационно-методической поддержки библиотек муниципального уровня”

「市立公共図書館の改善。市立レベルの図書館において、情報教育支援システムを確立する」計画の実行責任は、地域の図書館協会である。このプロジェクトは、市立公共図書館が必要とされる水準の情報教育の支援を得て、図書館事業の現代化と最新技術の導入を目的とする。その主な内容は、図書館運営と経営課題（特に遠距離のアクセスの場合）、図書館事業における研究と科学教授法の活動（出版と資料準備）等である。

“Программа развития ретроспективной национальной библиографии Российской Федерации”

「ロシア連邦遡及的な民族書誌学の開発」計画（期間は2010年まで）については、「ロシア全体の情報図書館ネットワーク “LIBNET”」の構築計画の範囲内で実施される。

“Национальная программа сохранения библиотечных фондов Российской Федерации”

「ロシア連邦の蔵書数を維持する国民プログラム」作成計画である。プログラムの目的は、国民の文化と情報ポテンシャルとして精神的な財産であるロシア連邦の蔵書規模を、現世代と次世代のために維持することである。

## 2. 公共図書館の数

### (5) 地方自治制度の段階別の公共図書館数（分館・サービス拠点を含む）について

2003年時点におけるロシアの連邦文化省の所管する公共図書館の数は、以下のとおりである。

公共図書館の数（2003年）

区分	館数
連邦および構成主体レベルの中央公共図書館	1,027
総合図書館	798
青年図書館	40
子ども図書館	117
視覚障害者のための図書館	72
地方自治体レベルの図書館	47,740
うち町村部に設置	37,653
合計	48,767

公共図書館の設置状況（2003年）

区分	公共図書館数	人口
全国	48,767館	14億3,096万9千人
うち町村部	37,653館	3億8,552万3千人

全国の公共図書館の約80%が町村部に存在する。町村部の公共図書館は、地方自治体レベルの図書館システムの末端に位置し、上位の図書館とはかなり様相を異にする。したがって以下の記述では、前述の“①連邦中央+②連邦構成主体”対“③地方自治体”とは別に、主としてこの「全国の公共図書館 48,767 館」と、そのうち「町村部の公共図書館 37,653 館」とを対比的に報告する。

### (6) 地方自治制度の段階別の公共図書館設置率について

地方自治体ごとの公共図書館設置率というデータはないが、前記のことから1館当りのサービス人口（2003年）は算出できる。

全国の公共図書館	約 29,000 人
町村部の公共図書館	約 10,000 人

### (7) 複数の自治体にまたがる図書館ネットワーク、コンソーシアム等について

図書館間のネットワークやコンソーシアムの存在を確認することはできなかった。趣旨とは異なるが、ロシアの図書館をつなぐネットワークの統合という目的でロシア全体の情報図書館ネットワーク「LIBNET」の構築が始まっている。

## 3. 公共図書館サービスの基本理念、原則について

### (8) 図書館に対する一般国民の意識、公共的な文化施設としての認識の状況

図書館に期待する役割として、次のことが認識されている。

- ・ 国民向けの情報センターとしての図書館

- ・ 情報プロバイダーとしての図書館
- ・ カルチャーセンターとしての図書館
- ・ 複数民族社会における文化コミュニケーションの中心としての図書館
- ・ 多文化環境で社会的パートナーシップを作るために一定の役割を果たす図書館

#### **(9)公共図書館サービスの基本理念、一般原則について**

前述(3)の図書館分野における法律「図書館事業について（1994年）」の規定に基づいて、公共図書館は国民に図書館サービスを提供する。

#### **(10)著作権の保護、図書館の公共貸与権、出版社への保障などについて**

詳細は不明である。

#### **(11)貸出開始時期を遅らせるなどの著作者への配慮について**

詳細は不明である。

#### **(12)個々の公共図書館の使命（ミッション・ステートメント）について**

地域の知的資源の収集、保存、維持、提供は公立図書館の目的であり、社会的な役割である。そのことが個々の図書館のミッション・ステートメントとして書かれている。それぞれの公共図書館の使命は、それぞれのウェブ上で公表されている。

#### **(13)地域社会の情報ニーズの定期的な調査などについて**

詳細は不明である。

## **2. 公共図書館の運営・経営の体制**

### **1. 設立主体と運営主体の状況と管理運営・経営の責任体制と経費負担**

#### **(14)公共図書館の整備や運営費の負担について**

詳細は不明である。

#### **(15)図書館の建設整備に PFI など、民間資金活用の試みについて**

詳細は不明である。

#### **(16)公共図書館の運営を民間に委託することについて**

詳細は不明である。

#### **(17)各段階の公共図書館の経営・運営の責任者について**

公共図書館の運営の責任者は、図書館の設立主体の長である。

#### **(18)館長の経営手腕を評価するシステム、監督者が重視する評価項目について**

詳細は不明である。

## 2. 図書館運営に関する年間経費の総額と資金負担の状況

### (19)各段階の公共図書館年間予算総額と、1館当りの平均年間予算額について

公共図書館の総経費は次のとおりである。また、連邦レベルと構成主体レベルの図書館は 1,027 館として、地方自治体レベルの図書館は 47,740 館として、それぞれ 1 館当りの経費を算出した。

公共図書館の総経費 (2003 年)

(単位：千ルーブル)

区分	総予算額		総経費			
			図書購入費	人件費	設備購入費	建物設備維持費
連邦レベル+構成主体レベルの中央図書館	3,126,127	2,818,907	410,842	961,371		
総合図書館	2,562,913	2,276,121	346,199	732,426	—	—
青年図書館	134,418	128,657	17,509	52,619	—	—
子ども図書館	277,756	267,949	28,095	124,390	—	—
視覚障害者のための図書館	151,040	146,180	19,039	51,936	—	—
地方自治体レベルの図書館	7,255,181	7,030,665	611,563	3,658,623	117,036	251,382
町村部に設置	1,267,235	1,243,917	—	—	—	—
全国図書館 (全体)	10,381,308	9,849,572	1,010,683	4,561,491	328,502	570,160
(経費の割合) (%)	—	100.0	10.3	46.3	3.3	5.8

公共図書館 1 館当り総経費 (2003 年)

(単位：千ルーブル)

区分	1館当り予算額		1館当り経費			
			図書購入費	人件費	設備購入費	建物設備維持費
連邦レベル+構成主体レベルの中央図書館	3,044	2,745	400	936		
総合図書館	3,212	2,852	434	918	—	—
青年図書館	3,360	3,216	438	1,315	—	—
子ども図書館	2,374	2,290	240	1,063	—	—
視覚障害者のための図書館	2,098	2,030	264	721	—	—
地方自治体レベルの図書館	152	147	13	77	2	5
町村部に設置	34	33	—	—	—	—
全国図書館 (全体)	213	202	21	94	7	12

注：IMF の *International Financial Statistics Yearbook 2004* より、2003 年平均で 1 ルーブル=3.78 円。

### (20)自治体の負担額と広域自治体、政府の補助金、民間の寄付の額や比率について

2003 年度の全国の公共図書館の総経費 9,849,572,000 ルーブル (日本円で 372 億 3,138 万円) に対して、設置主体の予算からの収入は、9,590,438,000 ルーブル (日本円で 362 億 5,186 万円) で、全体の 97.4% を占める。その他のレベル (構成主体レベルと思われる) からの収入は 259,134,000 ルーブル (日本円で 9 億 7,953 万円) (2.6%) とされている。(日本円換算については 2003 年の為替相場の年平均値、1 ルーブル=3.78 円として算出。)

### (21)人件費・図書購入費・建物設備維持費の3つの年間支出の割合について

(19)に述べたとおりである。全国公共図書館の総経費で、図書購入費 10.3%、人件費 46.3%、設備購入費 3.3%、建物設備維持費 5.8% という内訳になっている。

### 3. 図書館サービスについて

#### 1. 利用者数と開館時間

##### (22)公共図書館の年間利用者総数について

年間利用者数、登録者数は、それぞれ次のとおりである。

公共図書館における利用者の状況（2003年）

区分	利用者数（千人）	1館当たり（人）	図書館数
連邦の図書館と構成主体レベルの中央公共図書館	40,691.9	39,622	1,027
総合図書館	26,590.5	33,321	798
青年図書館	3,386.1	84,653	40
子ども図書館	8,837.2	75,532	117
視聴覚障害者のための図書館	1,878.1	26,085	72
地方自治体レベルの公共図書館（千ルーブル）	422,768.3	8,856	47,740
うち町村部に設置	191,805.9	5,094	37,653
全体	463,460.2	9,504	48,767

公共図書館における登録者の状況（2003年）

区分	登録者数（千人）	1館当たり（人）	図書館数
連邦の図書館と構成主体レベルの中央公共図書館	6,096.3	5,936	1,027
総合図書館	4,218.5	5,286	798
青年図書館	533.1	13,328	40
子ども図書館	1,156.6	9,885	117
視聴覚障害者のための図書館	188.1	2,613	72
地方自治体レベルの公共図書館（千ルーブル）	50,422.8	1,056	47,740
うち町村部に設置	19,991.5	531	37,653
全体	56,519.1	1,159	48,767

##### (23)図書館のサービスエリアの人口に占める割合（利用者登録率）について

公共図書館登録者の全人口に対する割合は3.9%である。町村部図書館の登録者のサービス人口に対する割合は5.2%となっている。（(5)の人口状況を参照のこと。）

##### (24)利用者の年齢・性別・利用目的などの内訳について

14歳以下の登録者数は18,260,300人で、全国の公共図書館における全登録者の32.3%であるということはおわっているが、他の内訳は不明である。

##### (25)夜間開館および開館時間数について

開館時間は、月曜日から土曜日の9:00～20:00で、休館は日曜日と祝祭日、という例はあるが、図書館の開館時間について全国的な傾向のわかるデータは存在しない。

#### 2. 蔵書数および貸出数

##### (26)各段階の公共図書館の蔵書数の規模について

全国公共図書館の所蔵数は、総数960,429,640点である。内訳は図書・雑誌が946,666,470冊と98.6%を占め、電子媒体が0.0%、Audio/Videoが1.4%である。このうち、町村部の公共図書館の所蔵数は353,777,310点で、その内訳は図書・雑誌が353,410,950冊と99.9%を占め、電子媒体とAudio/Videoはほとんど保有していない。

全国の図書館1館当りの図書・雑誌等の蔵書数は全国平均で19,412点である。一方、町村部の図書館にお

いては1館当たりが9,386点となっている。

#### 公共図書館の所蔵状況（2003年）

区分	図書・雑誌(冊)	電子媒体(点)	Audio/Video(点)	全体	図書館数
全国図書館(全体)	946,666,470	417,760	13,345,410	960,429,640	48,767
うち町村部図書館	353,410,950	9,830	356,530	353,777,310	37,653
全国図書館1館当たり	19,412	9	274	19,694	—
うち町村部図書館1館当たり	9,386	0	9	9,396	—

#### (27)蔵書の内訳について

成人向け、児童向けといった内訳についてはわからない。

#### (28)各段階の公共図書館別の蔵書の年間受け入れ冊数について

図書・雑誌等について、全国の公共図書館（48,767館）の年間受け入れ数は23,697,560冊、1館当たり486冊となっており、このうち町村部の公共図書館（37,653館）の図書・雑誌等の年間受け入れ数は8,340,260冊、1館当たり222冊である。

#### 公共図書館の年間受け入れ状況（2003年）

区分	図書・雑誌(冊)	電子媒体(点)	Audio/Video(点)	全体	図書館数
全国図書館(全体)	23,697,560	67,630	454,170	24,219,360	48,767
うち町村部図書館	8,340,260	5,400	14,990	8,360,650	37,653
全国図書館1館当たり	486	1	9	497	—
うち町村部図書館1館当たり	222	0	0	222	—

#### (29)各段階の公共図書館別の蔵書廃棄の実態について

詳細は不明である。

#### (30)各段階の公共図書館別のデータベース保有率、平均保有件数について

全国の公共図書館の書誌データベースに含まれるレコードの総体（総合容量）は60,392,000冊で、このうち1,529,000冊は町村図書館に存在する。また、電子版目録（OPAC）の総合容量は33,635,000冊で、うち928,000冊は町村部の図書館にある。

電子版目録（OPAC）を作成する公共図書館は1,214館（公共図書館全体の2.5%）であり、このうち町村部の図書館は180館（町村図書館全体の0.5%）となっている。

#### (31)書籍・雑誌などの媒体別の年間貸出数について

全国の公共図書館の貸出総数は1,277,215,940点（1館当たり26,190点）で、図書・雑誌は1,264,448,010冊（1館当たり25,928冊）、電子媒体は1,486,550点、Audio/Videoは11,281,380点である。このうち、町村部の図書館の貸出数は、総数455,263,810点（1館当たり12,091点）で、図書・雑誌が454,932,960冊、電子媒体が18,440点、Audio/Videoが312,410点となっている。

#### 公共図書館の年間貸出状況（2003年）

区分	図書・雑誌(冊)	電子媒体(点)	Audio/Video(点)	全体	図書館数
全国図書館(全体)	1,264,448,010	1,486,550	11,281,380	1,277,215,940	48,767
うち町村部図書館	454,932,960	18,440	312,410	455,263,810	37,653
全国図書館1館当たり	25,928	30	231	26,190	—
うち町村部図書館1館当たり	12,082	0	8	12,091	—

#### (32)映画フィルム、DVD、CDなどの媒体別の所蔵・貸出状況について

(26)で述べたとおり、音楽・映像関係の媒体の所蔵数は、全国の公共図書館で13,345,410本（1館当たり274



本)、このうち町村の公共図書館では 356,530 本（1 館当り 9 本）である。

また、貸出数は(31)で述べたとおり、全国で 11,281,380 本（1 館当り 231 本）となっており、このうち町村の公共図書館では 312,410 本（1 館当り 8 本）である。

### 3. 図書館の各種サービス

#### (33)図書館サービスに関する情報提供の方法について

公共図書館では、図書館サービスに関する情報提供は、ホームページの開設、公共広報誌、機関誌パンフレットなどの方法で行われている。

#### (34)インターネット等外部からの蔵書の有無、閲覧・貸出状況の確認について

詳細は不明である。

#### (35)地域情報の収集の状況について

「ロシア連邦の遡及的民族書誌学の開発計画（期間は 2010 年まで）」においては、ロシアのさまざまなレベルの図書情報機関により作り出される民族的な価値を持つ情報資源の総体を、ロシア連邦民族書誌学の遡及的なシステムとして発展させることが謳われている。この計画は、先述した「ロシアの文化」という計画の一部であり、ロシア全体の情報図書館ネットワーク「LIBNET」の構築計画の一環として位置づけられている。連邦構成主体の共和国、州、地域の図書館が主導して、統一基準に基づき書誌記録を整備するというものである。

このシステムには以下の 2 種類のネット用電子情報を含む。

- ・ 目録、総合目録（この場合には基礎機関として図書館および連邦レベルの他機関を含む）
- ・ 個別の図書館あるいは図書館団体、配分方式に基づいて、電子資源システムを結成する。

連邦構成主体の共和国・州・地域の各図書館は、地域で発行された書類に基づいて、具体的な計画に定められた範囲内で、この事業に協力する。つまり、ロシア連邦における遡及的民族書誌学の電子情報システムの一部として各々の電子資源を公開するということであるが、蔵書目録・総合目録を作成する立場であれば、それら書誌レコードを国の基準に定められた形で提出する。

このように、図書館ごとの事業を連携することによって、将来的には、全ロシア図書館コンソーシアムの形成をめざすことが目的である。

#### (36)地域内の大学等の諸機関との連携について

詳細は不明である。

#### (37)障害者向けの図書館サービスの全国的なシステムや媒体の整備状況について

ロシア連邦内には、視覚障害者のための図書館が 72 館ある。いずれも連邦構成主体レベルの図書館である。

(5)参照。2003 年の状況は以下のとおりである。

##### 視覚障害者のための図書館（2003 年）

図書館の数：	72 館	
登録者数：	188,100 人	(1 館当り 2,613 人)
来館者数：	1,878,100 人	(1 館当り 26,085 人)
蔵書冊数：	7,780,900 点	(1 館当り 108,068 点)
年間受入れ冊数：	441,630 点	(1 館当り 6,134 点)
年間貸出数：	10,276,910 点	(1 館当り 142,735 点)
図書館総経費：	151,040,000 ルーブル	(1 館当り 2,097,778 ルーブル)
	日本円で 5 億 7,093 万円	(1 館当り 793 万円)

注：日本円換算については 2003 年の為替相場の年平均値、1 ルーブル=3.78 円として算出。

**(38)在留外国人の母語に対応した図書の配備状況について**

詳細は不明である。

**(39)子どもの読書活動の振興や読書指導の状況について**

全国公共図書館における14歳以下の利用者による貸出数は434,361,290点で、貸出数全体の34.0%を占めている。このうち、全国の子ども図書館117館（構成主体レベル、地方自治体レベルのそれぞれにある）における貸出数は220,776,390点である。つまり、14歳以下の利用者が子ども図書館で本を借りる割合は50.8%で、一般の図書館もさることながら子ども図書館の果たす役割が大きいことがわかる。すべての公共図書館における14歳以下の登録者数は、(24)で触れたとおり、18,260,300人（全登録者の32.3%）であり、子ども図書館における登録者数は9,693,400人（全登録者の17.2%）である。

子ども向けプログラムとして全国の公共図書館では、読み聞かせ会や読書指導などがおこなわれている。（詳しくは、<http://www.rba.ru:8101/news/book.html>などを参照。）

**(40)その他各種事業（映画会など）の実施状況について**

詳細は不明である。

**4. 図書館職員の状況****1. 職員数、資格制度、研修等****(41)公共図書館の職員数（専任・兼任・非常勤の別など）について**

公共図書館の職員は、全体で176,166人であり、うち司書が125,728人と71.4%を占め、さらにこのうち図書館関係高等教育を受けた者が49,633人で、全職員の28.2%となっている。

全国の図書館1館当たり職員は3.6人で、町村部図書館に限ってみれば1館当たり1.8人である。

公共図書館の職員数

区分	全職員数	うち司書		割合 (%)	図書館数
			うち図書館関係高等教育を受けた者		
全国図書館（全体）	176,166	125,728	49,633	39.5	48,767
うち町村部図書館	66,791	50,225	9,167	18.3	37,653
全国図書館1館当たり	3.6	2.6	1.0	—	—
うち町村部図書館1館当たり	1.8	1.3	0.2	—	—

**(42)司書資格の難易・給与との関係、年間司書資格取得者数と就職者数について**

全ロシア連邦の構成主体の中央図書館館長協議会（2001年11月）によれば、ロシアの一般向け公共図書館の職員数は12万3,500万人で、このうち大学卒業者の数は4万7,500万人（38.5%）であり、年々増加する傾向にあるとの指摘がある。ただし、この傾向が現れるのは非常に遅く、市立図書館において図書館関係高等教育を受けた職員の数は10年間で2.4%しか増加しなかったという。

また、各図書館において高等資格を有する職員が不均等に配分されているという点も指摘されている。高等資格を有する職員は、多いところで60%あるのに対し、少ないところで20%という差がある。市立図書館の場合では、大学卒の職員の比率は66%から16.5%までの幅がみられた。

一方、図書館関係専門教育を受けた職員数は、10年で3,000人（4%）増加し、2000年に5万5,400万人になったという報告もある。図書館専門ではなく、一般教育を受けた職員数は10年で10%減少し、ロシア連邦文化省が所管する公共図書館においては、2001年はじめて約16%減（2万人余りの減少）となった。

また、図書館の人材には高頻度の流動性（30%まで）が見られ、図書館員の高齢化と、若い専門家が少なく、

定着度が低いこと、加えて女性の割合がきわめて高いことなども指摘されている。

#### (43)公共図書館現職職員の研修プログラムについて

図書館司書補の専門教育に関するロシア文化省の幹部会議についての報告（2003年）から以下のことがわかった。

ロシア連邦にはさまざまな種類の約13万館の図書館がある。このうち4.9万館は公共図書館と科学図書館である。職員の数は18万人、この中の12.6万人は公共図書館で勤務している。

ただし、最近10年間で、大学・専門学校の図書館専門分野の入学定員が削減された。しかも、図書館関係で就職するのは卒業者の7～10%だけである。その主要な原因として、給与が低いことが挙げられる。

このように慢性的に人材が不足している状況は、異なる専門分野の人を雇うことにより若干改善している。つまり、文学者、歴史家、プログラマー、技師、心理学者、社会学者、医学者、農学者、軍人などが図書館で職を得た。この状況を別の視点からみると、現代化の流れの中で労働市場の不利な事情に左右され異分野から入ってきた職員にとって、図書館業務に携わることは自分の可能性を実現するチャンスとなる。このような職員は、主に再教育によって専門の図書館知識を身に付けることになる。

従来からの一般教育・高等教育のあり方が現場の図書館運営実践と乖離しているため、若い人材が不足しているが、これを補うために重要な司書補専門教育システムは、以下の各レベルで行なわれている。

#### [連邦レベルについて]

##### ○高等教育と司書補専門教育

- ・文化芸術再教育専門学校（АПРИКТ）
- ・情報関係職員の育成を目的とする技能向上大学（ИПКИР）
- ・モスクワ国立文化芸術大学（МГУКИ）
- ・ケミ市文化芸術専門学校
- ・カザン市文化芸術専門学校
- ・ペリミ市文化芸術大学
- ・サマラ市国立文化芸術専門学校

##### ○連邦の図書館

- ・ロシア連邦国立図書館、補助専門教育と再教育の研修センター（РГБ）
- ・ロシア国民図書館、研修センター（РНБ）
- ・全ロシア外国語文学図書館（ВГБИЛ）、“Школа Радомино” 研修センター

##### ○連邦（所管官庁の異なる）図書館

- ・ロシアの国立公共科学技術図書館（ГПНТБ）
- ・中央農学図書館（ЦНСХБ）

#### [構成主体レベルについて]

##### ○地域・文化芸術関係の職員の再教育専門講座

- ・国立公共科学技術図書館における、シベリア地域の連続教育の図書センター（ノウボ・シビルスク、ロシア連邦 科学アカデミー（РАН）、シベリア）
- ・図書館職員養成専門センター（ハバロフスク市の極東国立図書館を中心に）

##### ○ロシア連邦地域にあたるものは地域中央図書館

##### ○さまざまな組織の革新教育

- ・オムスク州地域の文化芸術本部の最新センター
- ・プスコフ市、地域の生涯教育「школа андрагогики」
- ・タタル共和国の健康省の医学情報図書館

#### [地方自治体レベルについて]

##### ○中央市立と地域の図書館

冒頭に挙げた、文化芸術再教育専門学校（АПРИКТ）が、補助専門教育システムを主導している。文化省の援助を受け、この専門学校では、もっとも活発に活動している地域図書館と市立図書館に対し、幹部要員と中央レベルの指導者を対象に教育を行っている。

教育プログラムの中には、既に、伝統的な「図書館員・書誌学者」と「管理者、図書館事業の運営」プログラムがあり、それ以外に専門学校は根本的に新しい再教育の方針として「蔵書の管理・保管者」と「書誌学・分析者」というプログラムを用意した。近いうちに、もう一つの新しいプログラム「管理者、団体の情報図書資源に関する運営」を開講することになっている。

連邦の図書館の附属補助専門教育センターも活発に活動している。

図書館職員の人材強化の施策を実現するため、Federal Target Program の「ロシアの文化（2001-2005）」の「ロシアの図書館」というプログラムには、「2001年には46万ルーブル、2002年には160万ルーブルが分配された。2003年に、ロシアの地方における専門家300-350人を研修・再教育するために、200万ルーブルを予算に組み入れている」とある。

（参照：<http://www.nlr.ru:8101/news/rnbinfo/2003/3-1.htm>）

## 2. ボランティアの登録・活動の状況

### (44)公共図書館で活動しているボランティアについて

詳細は不明である。

## 5. 図書館の設備、情報化等の整備状況

### 1. 各種施設・設備の設置状況

#### (45)各種の施設・設備（閲覧室、書庫、児童室、対面朗読室など）の状況について

詳細は不明である。

#### (46)スロープ、トイレなど、車椅子利用者用の設備の整備状況について

詳細は不明である。

### 2. コンピュータの設置・活用状況およびインターネットの活用

#### (47)コンピュータの設置状況（職員用・利用客用）について

コンピュータを設置している館とその台数は、以下のとおりである。

コンピュータ設置状況

区分	コンピュータ設置館(館)	設置館の割合	図書館数	設置台数(台)	1館当たり(台)
全国の公共図書館	3,814	7.8%	48,767	21,451	5.6
町村の公共図書館	875	2.3%	37,653	1,400	1.6

#### (48)インターネットの利用やセキュリティ保持の状況について

2003年の、インターネットへのアクセスの状況は、以下のとおりとなっている。

## インターネットアクセス状況

区分	インターネット接続館（館）	接続館の割合	図書館数
全国図書館（全体）	1,343	2.8%	48,767
うち町村部図書館	220	0.6%	37,653

市民の情報アクセサビリティを高めるためのインターネット等の講習指導もおこなわれている。詳しくは、<http://www.nlr.ru:8101/tus/231003/invit.htm> などに掲載されている。

**(49)利用者のパソコン用の電源と情報端末の整備状況について**

詳細は不明である。

**(50)Web-OPAC やデータベースの利用とオンライン・レファレンスの実施について**

(30)でも述べたとおり、電子版目録（OPAC）を作成する公共図書館は、まだ全体の2.5%に過ぎず、そのレコード総量も33,635,000冊に満たない。オンライン・レファレンスについての全国的傾向はわからなかった。

## &lt;参考文献・ウェブサイト&gt;

- Общедоступные библиотеки Российской Федерации в цифрах (ежегодное издание ГИВЦ)  
(「2003年度、数値でみるロシア連邦の一般国民図書館」、ГИВЦ МК РФ、モスクワ、2004)
- ФЕДЕРАЛЬНАЯ ЦЕЛЕВАЯ ПРОГРАММА "КУЛЬТУРА РОССИИ (2001-2005 ГОДЫ)"  
(「2001-2005におけるロシアの文化」連邦の計画書), (online), available from  
<<http://www.programs-gov.ru/ext/12/content.htm>>
- ПРОГРАММА РАЗВИТИЯ РЕТРОСПЕКТИВНОЙ  
НАЦИОНАЛЬНОЙ БИБЛИОГРАФИИ РОССИЙСКОЙ ФЕДЕРАЦИИ на период до 2010 г.  
(ロシア連邦遡及的民族書誌学の開発計画 (期間は2010年まで)  
2002年5月17日, ロシア図書館協力の会議で採択された 年度会期、総会), (online), available from  
<<http://www.rba.ru:8101/or/comitet/24/progr.html>>
- Научная конференция "Библиотека как культурный центр" 7 - 8 октября 2002 г. РНБ. ИНФОРМАЦИЯ. № 10.  
2002 г.  
(2002年10月7-8日, ロシア国民図書館で「文化センターとしての図書館」会議が行われた。РНБ, ИНФОРМАЦИЯ,  
№10, 2002r), (online), available from  
<<http://www.nlr.ru:8101/news/rnbinfo/2002/rnb102.htm>>
- ПРОГРАММА СОХРАНЕНИЯ БИБЛИОТЕЧНЫХ ФОНДОВ  
Приказ Министерства культуры Российской Федерации от 13 сентября 2000 г. N 540 "О национальной  
программе сохранения библиотечных фондов Российской Федерации" (с текстом программы)  
(「蔵書規模を維持するプログラム」ロシア連邦文化省、命令、2000年9月13日、№540  
「ロシア連邦の蔵書規模を維持する国民プログラムについて」), (online), available from  
<<http://www.rsl.ru/pub.asp?9.htm>>
- Библиотечное законодательство России  
(ロシア連邦の図書館に関する法令), (online), available from  
<<http://www.rba.ru:8101/or/od/law/cont/sostav.html>>
- АВТОРСКОЕ ПРАВО, БИБЛИОТЕКИ И ИЗДАТЕЛЬСТВА В ВЕК ЭЛЕКТРОННЫХ  
КОММУНИКАЦИЙ, Материалы международного семинара (25—26.05.1998)  
(「電子通信の時代における、電子著作権、図書館、出版社」1998年5月25-26日、国際セミナー),  
(online), available from <<http://www.rba.ru:8101/or/od/law/obesp/zeminr/zeminr.html>>
- ГОСУДАРСТВЕННОЕ ЗАКОНОДАТЕЛЬНОЕ РЕГУЛИРОВАНИЕ ДЕЯТЕЛЬНОСТИ  
БИБЛИОТЕК: Монография: В. Р. ФИРСОВ, Санкт-Петербург 2000  
(「図書館事業において、全国立法によって規制すること」モノグラフ、著者 V.R.フィルソフ,  
Санкт-Петербург、2000), (online), available from  
<<http://www.rba.ru:8101/or/od/law/obesp/fir/fir1.htm>>
- ПУБЛИЧНАЯ БИБЛИОТЕКА В УСЛОВИЯХ МЕСТНОГО САМОУПРАВЛЕНИЯ Пособие  
(「地方自治制度における公共図書館」参考書), (online), available from  
<<http://www.rba.ru:8101/or/od/law/obesp/pub.htm>>
- УПРАВЛЕНЧЕСКИЙ УЧЕТ В БИБЛИОТЕКЕ  
(Библиотечная статистика: современное состояние, проблемы) Учебное пособие  
(「図書館における管理的な考慮 (図書館の統計: 現状、問題)」教材), (online), available from  
<<http://www.rba.ru:8101/or/od/law/obesp/suslova.htm>>
- Секция "Электронные ресурсы и информационно  
библиографическое обслуживание" Российской библиотечной ассоциации  
Общероссийская научно-практическая конференция "Современные пользователи автоматизированных  
информационно-библиотечных систем: проблемы обслуживания, изучения и обучения"  
(「電子資源と情報書誌学的なサービス」文学会、全ロシア学会、2003

- 「現代のユーザに対して自動的な情報図書システム」 (online), available from  
<<http://www.rba.ru:8101/or/comitet/21/merop.html>>
- Библиография по актуальным проблемам библиотечного дела  
 (図書館の問題について) , (online), available from  
<[http://www.mincultrf.ru/str\\_mkrf.php?blank=str\\_mkrf\\_biblioteka\\_public3.htm](http://www.mincultrf.ru/str_mkrf.php?blank=str_mkrf_biblioteka_public3.htm)>
  - UNESCO Institute for Statistics, “Libraries: Selection of Indicators on Public Libraries”, 1996-1999,  
 (online), available from <<http://www.uis.unesco.org/ev.php>>
  - Государственное проектное финансирование в области библиотечного дела — некоторые итоги и перспективы  
 развития  
 State Project Financing of Libraries: Several Results and Prospects  
 Николаева В. К. Министерство культуры РФ, Москва, Россия  
 (「国の図書館事業における企画的な融資：ある結果と発展企画」  
 V.K.ニコラエフ、ロシア連邦文化省、モスクワ、ロシア連邦) , (online), available from  
<<http://www.gpntb.ru/win/inter-events/crimea2003/trud/tom1/plen/Doc6.htm>>
  - Библиотечный вестник Прибайкалья 1 (18) 2002 г  
 (「プリバイカリエ地方の図書館通報」 1 (18) 2002) , (online), available from  
<<http://www.irklub.ru/fonds/BV/vestnik18/4.htm>>
  - ИТОГОВЫЙ ДОКУМЕНТ ВСЕРОССИЙСКОГО СОВЕЩАНИЯ ФЕДЕРАЛЬНЫХ  
 И ЦЕНТРАЛЬНЫХ БИБЛИОТЕК СУБЪЕКТОВ РОССИЙСКОЙ ФЕДЕРАЦИИ  
 «УПРАВЛЕНИЕ И КАДРЫ» 27-30 ноября 2001г. Москва  
 (「全ロシア連邦、連邦の主体地域国立・中央図書館の協議会 最終の公文書」  
 「運営と人材」、モスクワ、2001年11月27-30日) , (online), available from  
<[http://www.mincultrf.ru/prog\\_plan.php?blank=str\\_mkrf\\_biblioteka\\_public.htm](http://www.mincultrf.ru/prog_plan.php?blank=str_mkrf_biblioteka_public.htm)>
  - Михнова И.Б. Библиотека как информационный центр для населения: проблемы и их решения.  
 – М.: Практ пособие. – М., Либерия, 2000. – 128 с.  
 (「国民向きの情報センターとして図書館：課題と解決方法」 I.B.ミフノワ、モスクワ、Liberia 出版社、2000、p.128) ,  
 (online), available from <<http://www.library.ru/1/kb/books/libinfocenter/>>
  - Всероссийское совещание руководителей федеральных и региональных библиотек России  
 "Библиотеки и социальное партнерство"  
 (全ロシア連邦の国立及び地域の図書館の幹部協議 (2003年12月1日)  
 「図書館と社会のパートナーシップ」) , (online), available from  
<<http://www.nlr.ru:8101/tus/011203/index.html>>
  - IV Международная конференция “Библиотека – центр диалога культур в  
 полиэтническом обществе” (РНБ. ИНФОРМАЦИЯ. № 10. 2002 г.)  
 (「複数民族社会における文化コミュニケーションの中心としての図書館」 第4回国際会議、RNB、INFORMATSIYA、  
 №10、2002) , (online), available from  
<<http://www.nlr.ru:8101/news/rnbinfo/2002/rnb102.htm>>
  - Министерство культуры Российской Федерации  
 СПРАВКА на коллегию Минкультуры России по дополнительному профессиональному библиотечному  
 образованию  
 РНБ ИНФОРМАЦИЯ. №3.2003 г.  
 (ロシア連邦文化省 図書司書補専門教育に関するロシア文化省の幹部会議に対する証明書  
 РНБ、ИНФОРМАЦИЯ、№3、2003г) , (online), available from  
<<http://www.nlr.ru:8101/news/rnbinfo/2003/3-1.htm>>
  - МИНИСТЕРСТВО КУЛЬТУРЫ РОССИЙСКОЙ ФЕДЕРАЦИИ РЕШЕНИЕ КОЛЛЕГИИ  
 24 декабря 2003 г. № 21

О проблемах сохранения и развития сельских библиотек

(ロシア連邦文化省の幹部会議 議会決議 (2003年12月24日)「町村の図書館の保存と発展問題について」, (online), available from <<http://pravo.mincultrf.ru/law/kollegia/24/12/2003/1/text/1182.html>>

(ソロビヨワ・イエレナ／Solovieva Elena)